

# min-na うれしい!

~Everyone is happy!!~

市立札幌開成中等教育学校 5期生 第3学年通信

発行:平成31年1月21日 月曜日

## No.46



## 2019年もよろしくお願ひします。

2019年が始まり、いよいよ3学年最後の3ヶ月となりました。冬休みはリフレッシュできたでしょうか。ここからはあっという間に時間が過ぎていきます。2月に最後の課題ラッシュがあり、気がついたら3月になり、3年生としての1年間が終わります。そして次の学年へと進んでいくこととなります。普通の学校であればこの時期に受験があり、中学校の生活に区切りをつけて、高校へと進んでいくこととなります。この学校ではそのような区切りは意識しにくいかもしれません。また、充実期は続いていきます。ですが、気持ちを新たに充実した4年生としての1年を過ごすために、自分を変えるチャンスはきっとこの時期にあると思っています。残り少ない3年生としての時間を大切にして、やり残したことがないよう、今やりたいこと、今しかできないことにたくさん取り組んでみてください。今年も充実した一年にしていきましょう。(宮谷)

### パーソナルプロジェクトに向けて 3学年主任 山岸陽一

冬休み前に英語と理科のインターディシプリナリーユニット(学際的単元)を行いました。SCIENCE JOURNAL FOR KIDSというアメリカのサイトに、環境問題に関する最先端の科学論文を小中学生に向けて編集したPDFが500近くあります。その中のPDFを英語の授業で和訳し、理科の授業で自分の考えをつくり、英語の授業で英訳しNEWS LETTERにまとめました。小中学生から環境問題に対して科学的に触れ、自分の考えを持つことと行動を促すアメリカの環境は、毎年論文数世界1位(日本は2位から5位に、中国が2位に上昇)を続けている現状を実感する授業でした。同時に世界には英語で書かれたものが多く、日本語という狭い世界の中にいることも改めて感じました。例えば「How much does it cost when cows burp?」は牛のゲップから地球温暖化を考えるもので、探究すれば家畜に関する考えを問われるものになります。➤

単元後の生徒の振り返りに2つの傾向「良い成績をとるために」と「問題を解決するために」がありました。「問題を解決するために」どうすればよいかの振り返りには深いものが多くありました。食品ロスと家畜の命という本質への「問い」は本人の葛藤を呼び、乗り越えようと調べ考える姿勢が学びを深めると感じました。「問題」「学問」には問が入っています。

自分への「問い」は大切です。「ラーメン」だけでは学びは起きませんが、「ラーメンをつくるには?」と問うと学びが始まり、さらに「おいしいラーメンをつくるには?」と問うと、課題探究になります。4年生の4月から約半年間のパーソナルプロジェクト(個人の探究)が始まります。MYPの集大成で計画、評価基準作成、実施などすべて自分で行います。3年生の3月までには、研究テーマを決めます。「良い成績をとる」ためではなく、自ら本質へ「問い」続けるものを見つけると、苦しくとも充実した日々となります。そして充実期から発展期に移ります。

#### 【2月の予定】

2月1日 教育相談期間(~28日)

2月22日 カーリング(道銀スタジアム)

#### ※コズプロ関連

ポスター締め切り 2月1日

3・4年生内発表会 2月15日

計画的に  
進めましょう